

子ども一人ひとりが生き生きと学ぶ授業を目指して ～質の高い学びをつくり、誰一人取り残さない教育の推進～

坂戸市教育委員会 令和5年4月

【坂戸市が目指す児童生徒の姿】(第7次坂戸市総合計画より)

自ら道を切り拓き、社会で自立する「生きる力」を身に付けた児童生徒

日々の授業を充実させ、2つの柱で児童生徒の育成を目指します！

心の教育

【心がつながり、安心して学べる授業】

- ・聴き合い、学び合う関係づくり
- ・認めて褒めて伸ばす教師の視点づくり

【認め合い支え合う集団の育成】

- ・お互いの意見を尊重し合える集団づくり
- ・安心して生活できる居場所があり居心地の良い学級づくり

不登校やいじめなどの未然防止



「確かな学力」とは・・・？

《大切にしてほしいこと》

学びづくり

【「主体的・対話的で深い学び」のある授業】

子どもが興味関心をもち、深い学びを促進する課題を提供し、他者と協働する授業づくり

【生きる力につながる能力の育成】

- ・知識・理解、課題発見・解決力や思考力・判断力・表現力（行動含む）の育成
- ・他者と協働する力の育成

児童生徒の確かな学力の向上

知識・技能に加え、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力

(1) 授業づくり

①深い教材研究

- ・教材について深く学び、教科の専門性を高める。
- ・深い学びに繋がる魅力的な課題を提供する。
→協働する場面・方法（ペア・グループ学習を取り入れ、子どもの学習活動時間を確保する。）

②教師の役割の明確化

- ・教師はつなぎ役
→子どもの学ぶ姿を良く観て学びをつくる。子ども主体の学習づくり。
→「聴くこと」→「繋ぐこと（子ども同士、子どもと教材）」→「戻すこと」に徹する。
→子どもの様子を常に見取りながら学びを深めていく。

(2) 教師の同僚性

- ・経験や立場を超えて教師同士相談できる関係を築く。
- ・授業を見合い、学び合うことでお互いを高め合う。

《学びの機会》

- ・学びづくり研修会（旧学び合い研修会）
- ・学校指導訪問
- ・各種年次経験者授業研究会
- ・校内授業研究会 など

